



八幡こぼと園だより

2024. 8月号 NO. 5

夏本番を迎え、暑い日が続いています。畑やプランターで栽培しているクラスの野菜もずいぶん大きくなり収穫できたものは随時、給食室で調理をしてもらい給食やおやつの時間に味わっています。

これからも、プール、水遊びをする機会も多くなりますが、それらの遊びに関しては楽しい反面、危険も隣り合わせであるため、十分に気をつけて遊びの提供をしていきたいと思ひます。

また、先月より全国的に新型コロナウィルス感染症が増えている状況です。発熱はもちろん、咳や鼻水等の症状が続くときには、必ず医療機関で受診をして下さい。また、RSウイルスに感染するお子さんも見られています。RSウイルス感染症は、風邪と症状がよく似ていて、熱、咳、鼻水などの症状が数日続きます。乳幼児は重症化する恐れがあるので注意が必要です。咳や鼻水の症状が続くようなときには早めに医療機関を受診しましょう。

今後もまだまだ暑い日が続くことと思ひます。お休みの日には、ご家庭で楽しい計画があると思ひます。暑いと体力も消耗しやすく食欲が落ちたりすることもあるので、こまめに水分補給をしたり十分に休息をとりながら楽しい夏を過ごして下さい。

8月の予定	9月の予定
6日(火) わらべうた(ひまわり組・すみれ組) 20日(火) サッカー教室(すみれ組・ゆり組) 21日(水) 誕生会 22日(木) 運動遊び(ひまわり組・すみれ組) 23日(金) ゆり組夏のお楽しみ会 30日(金) 読み聞かせ(もも組・ゆり組)	2日(月) 防災訓練 10日(火) 読み聞かせ(ばら組・ゆり組) 11日(水) 誕生会 12日(木) ゆり組保育参観懇談会 19日(木) ひまわり組 保育参観懇談会 26日(木) たんぽぽ組保育参観懇談会 ※保育参観懇談会の時間帯(午前中)や、 詳細については後日お知らせします。



● お願い ●

★ 17時半近くになると、駐車場が混み合い、園庭脇の道路に数台の車が並ぶことがあります。その際、園内にも放送でお知らせしていますが、帰りの準備が出来ましたら速やかな降園と、スムーズな駐車場の利用が出来ますよう、ご協力をお願いします。

延長保育を申請していないご家庭のお迎え時間は 18時15分までとなっています。時間に遅れずにお迎えに来て下さい。また、帰りの準備ができましたら速やかな降園のご協力をお願いします。

★ 8月分の保育料から、各ご家庭へ請求書等の配布はいたしません。

請求額等についてご確認が必要な時には、職員室までお声がけ下さい。



とうもろこしの皮むき ～すみれ組～



すみれ組で5月から育てているとうもろこし。収穫はまだ先ですが、一足先に「食育活動」で、とうもろこしの皮をむきました。

一人一本、とうもろこしを手にとると「おい」「おおきいね」と、驚いた様子の子も達。皮を一枚ずつめくり、むこうとするのですが、予想に反して、簡単にはむくことができず、力を込めて引っ張り、やっと一枚むくことができました。そして、中の実にたどり着くには何枚もむかねばならず、顔を赤くし、額に汗を浮かべる子ども達でした。さらに、とうもろこしのひげを手にとると「しっぽみたいだね」と、触り、几帳面にも一本一本丁寧に取ろうとする子もいました。匂いを嗅いで「はっばのにおいする」と、感想を伝え合い、「あまいかな」と、食べることが待ち遠しい様子も見とれました。

待ちに待った給食の時間は、真っ先にかぶりつき、「おいしい!」「あまいね」と、嬉しそうなお声があちこちから聞かれ、黄色い実がなくなるまで食べ尽す子ども達なのでした。(苦手な子もいましたが…)



育てているとうもろこしも順調に膨らみ、大きくなっているので、このままカラス等に食べられないように見守り、また、みんなでおおいしくいただきたいと思ひます。

すみれ組担任 阿部 友子

★熱中症予防のために★

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだか熱い



熱中症予防のために、暑さを避ける

室内では・・・

- 扇風機やエアコンで温度を調節
- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- 室温をこまめに確認

外出時には・・・

- 日傘や帽子の着用
- 日陰の利用、こまめな休息
- 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

身体の蓄熱を避けるために

通気性の良い吸湿性、速乾性のある衣服を着用する。保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす。

こまめに水分をとる

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分、塩分、経口保水液などを補給する。